

■ 犬パルボウイルス2型 (CPV-2)

● ワクチン効果、防御能の判定には犬ワクチンセット (18ページ参照) をご利用ください。

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CPV-2 野外株遺伝子★	<p>糞便 適量</p> <p>全血</p> <p>血清(血漿) 0.4mL</p>	常温冷蔵	4日以内	PCR	<p>1. CPV-2 野外株を高感度に検出します (抗原検査に比べ数百倍以上高感度です)。</p> <p>2. CPV-2 野外株 (2a, 2b, 2c 型、いわゆる New タイプ) を特異的に検出します。</p> <p>ワクチンの影響</p> <p>2bタイプワクチンを接種した2週間以内の犬には適応できません。</p>
CPV-2 IgM 抗体	<p>血清(血漿) 0.1mL</p>	常温冷蔵 △	4日以内	2ME-HI	<p>1. 前述の CDV と違い、抗体のレベルで野外株とワクチン株を区別することはできません。</p> <p>2. IgM はやや不安定ですので夏季は普通郵便以外 (速達郵便や宅急便) の利用をお勧めします。</p> <p>ワクチンの影響</p> <p>CPV-2 生ワクチン接種2週間以内の場合はワクチンによる IgM が検出されることがあります。</p>
CPV-2 HI 抗体	<p>血清(血漿) 0.1mL</p>	常温冷蔵	4日以内	HI	<p>1. CPV-2 ワクチン未接種の幼齢犬 (4ヶ月齢以下) の場合のみ本検査での診断が可能です。</p> <p>2. ワクチン未接種で以下の場合に感染が強く疑えます。</p> <p>1ヶ月齢 ▶ 5,120 以上 2ヶ月齢 ▶ 640 以上 3ヶ月齢 ▶ 80 以上 4ヶ月齢 ▶ 10 以上</p>

【CPV-2 感染後の抗体、遺伝子、白血球数の変化】

